

無鉛

防藻・防かび

JIS K 5970
建物用床塗料 上塗り
日塗検JP0308004
F★★★★

1液水性アクリル薄膜床用塗料

水性フローアール



水性アクリル薄膜床用塗料

無鉛

防藻・防かび

水性フローア

防塵性

に優れ、
コンクリート・モルタルの
劣化や発塵、汚れやホコリの
付着を防ぎます。

水性

なので取り扱いやすく、
作業が簡単!乾燥性に
優れています。

密着性

に優れています。
コンクリート・モルタル、
アスファルトコンクリート
との密着性に優れています。



用途

- ①ショッピングセンター、展示場などの商業施設の
アスファルトコンクリート、コンクリート・モルタル床面
- ②歩道、遊歩道などの床面

容量・塗装面積

品名	容量	標準塗装面積
水性フローア	16kg	0.12~0.3kg/m ² ×2回塗りで26~66㎡
	4kg	0.12~0.3kg/m ² ×2回塗りで6~16㎡
カチオン浸透エポプライマー	15kg	0.15kg/m ² ×1回塗りで100㎡
	4kg	0.15kg/m ² ×1回塗りで26㎡

※塗装面積は下地状況により異なりますのでご注意ください。

色相

※色相はフローア床材色見本帳をご参照下さい。

常備色 (6色)

- A-1 マスカットグリーン
- A-2 エメラルドグリーン
- A-3 フレッシュグリーン
- A-4 フォックスグレー
- A-5 サンドベージュ
- A-6 スカーレットブラウン

標準色 (15色) ※受注生産

- B-4 ムーングレー
- B-5 シルバーグレー
- B-6 ハンターグリーン
- B-7 セメントグレー
- B-12 ライトベージュ
- B-15 キャメルイエロー
- B-16 チャイナベージュ
- B-18 ラインイエロー
- B-20 ライトグレー
- B-21 アーモンドブラウン
- B-22 マイルドグリーン
- B-23 ウォーターブルー
- B-24 ハーベストブラウン
- B-25 マリンブルー
- B-26 ゴールデンイエロー

指定色

標準工法

工法名	工程	材 料 名	使用量 (kg/m ²)	上塗可能時間	備 考
コーティング工法 	1	素地調整	-	-	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	カチオン浸透エポプライマー	0.15	2時間～ 48時間	原液のまま、中毛ローラーにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
	3	水性フローア 水道水	0.15 0.045	2時間～ 48時間	水道水で30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。
	4	水性フローア 水道水	0.15 0.045	12時間以上 (軽歩行開放時間)	
コーティング工法 アスファルトコンクリート面  <p>※下地の表面状態により、使用量が変わります。</p>	1	素地調整	-	-	※施工上の注意事項をご参照下さい。 アスファルトの脆弱部は完全に除去して下さい。
	2	水性フローア 水道水	0.3 0.09	4時間～ 48時間	水道水で30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。
	3	水性フローア 水道水	0.3 0.09	12時間以上 (軽歩行開放時間)	
防滑工法 	1	素地調整	-	-	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	カチオン浸透エポプライマー	0.15	2時間～ 48時間	原液のまま、中毛ローラーにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
	3	水性フローア 水道水	0.15 0.045	直後	水道水で30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。
	4	フローン珪砂6号 又は7号(追吹付)	0.3	3時間～ 48時間	前工程直後、リシンガン(口径3～4mmφ)にてフローン珪砂6号又は7号を散布。乾燥後、余剰なフローン珪砂を除去。
	5	水性フローア 水道水	0.2 0.06	2時間～ 48時間	水道水で30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。
	6	水性フローア 水道水	0.2 0.06	12時間以上 (軽歩行開放時間)	

※カチオン浸透エポプライマーに使用したローラー、ハケ等は水性フローアと共用しないで下さい。

施工例



■乾燥性

温 度	10℃	23℃	30℃
上塗り可能時間	5~48時間	2~48時間	2~48時間
歩行可能時間	18時間以上	12時間以上	8時間以上

* 作業時間は施工環境により多少前後します。予めご注意ください。

■性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外 観	着色粘稠液	
引っかき硬度	HB	JIS K 5600鉛筆法
摩耗質量	100mg	JIS K 7204 テーパー式摩耗試験機、CS-17 9.8N 回転数1000回
鏡面光沢度	80	JIS K 5600入射角60度
耐 候 性	異常なし	ウェザーメーター300時間
ホルムアルデヒド 放 散 等 級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

■耐薬品性・耐油性

試験項目	結果	試験条件
耐 水 性	◎	水道水、一ヶ月浸漬
耐 塩 水 性	◎	20%塩水、スポット試験48時間
耐 酸 性	○	10%塩酸、スポット試験48時間
	○	10%硫酸、スポット試験48時間
	△	10%硝酸、スポット試験48時間
	△	10%酢酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
	◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	醤油、スポット試験48時間
	◎	ソース、スポット試験48時間
耐 油 性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	△	灯油、スポット試験48時間
	△	エンジンオイル、スポット試験48時間
	△	切削油、スポット試験48時間

* 判定：◎=異常なし、○=やや悪影響、△=やや悪影響 ※ スポット試験は、JIS A 5705に準拠
* 試験結果は、弊社における試験に基づいたもので、保証値ではありません。

◆施工上の注意事項

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に除去して下さい。また、新設コンクリート・モルタル面の表面には、レイタンス（遊離アルカリ）による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。
- アスファルト・コンクリートの密度により使用量、乾燥時間が変化しますのでご注意ください。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響により塗膜層のフクレ、硬化不良を、またアルカリの影響により密着不良を招く場合があります。したがって、含水率が、高周波水分計ケット社製HI-50D・HI-52Dで測定し、コンクリートレンゾの表示値が5%以下、かつ、pH9.5以下になってから施工して下さい。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。また、降雨直後で下地に水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、ヒキカットして、フロンエポバテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。
- アスファルト・コンクリート面には直接、水性フロアーを施工して下さい。
- 施工後23℃では、12時間程度経過後、歩行可能となります。ただし、この時間帯は、温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意ください。
- に使用になる環境を十分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
- カチオン浸透エポプライマーに使用したローラー、ハケ等は水性フロアーと共用しないで下さい。他の容器に移す場合はプラスチック容器を使用して下さい。金属容器を使用すると錆が発生する可能性があります。

- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。
硬化時間、硬化後の性能は施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下 乾燥後退 (密着不良、ひび割れ、カブリ等発生)	15℃~25℃ 最適	30℃以上 乾燥促進 (作業性悪化による仕上り不良)
-------------------------------------	---------------	----------------------------------

- 開封後は速やかに使い切ってください。
- 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 水性フロアーは、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。
- 容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込みか、産業処理業者に処理を依頼して下さい。

業務用

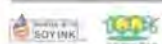
《共通注意事項》 1. 取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。
2. アレルギー性等の特質体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けてください。
(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)
※ 詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

●お問い合わせは……

東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南藤崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
札幌営業所 / 〒065-0043 札幌市東区南郷19-4-6 TEL.011(743)5271(代) FAX.011(743)5273
仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山本戸3-7-9 TEL.025(273)8749(代) FAX.025(274)6730
静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※ 製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
※ 諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <http://www.hnt.net.co.jp> CATALOG NO.7 '09.12.3000